

2020年度第1四半期決算概要

2020年7月29日

東京電力ホールディングス株式会社

【2020年度第1四半期決算のポイント】

- **売上高**は、競争激化や、新型コロナウイルス感染症の影響で販売電力量が減少したことなどにより減収
- **経常損益**は、グループ全社を挙げた継続的なコスト削減に努めたものの、売上高の減少や、JERAにおいて燃料費調整制度の期ずれ影響が悪化したことなどにより減益
- **四半期純損益**は、前年度特別利益の反動減などにより減益

1. 連結決算の概要

(単位:億kWh)

	2020年4-6月	2019年4-6月	比較	
			増減	比率(%)
販売電力量(連結)	474	522	△ 48	90.8

(単位:億円)

	2020年4-6月	2019年4-6月	比較	
			増減	比率(%)
売上高	13,413	15,040	△ 1,627	89.2
営業損益	575	512	63	112.4
経常損益	685	985	△ 300	69.5
特別利益	-	3,132	△ 3,132	-
特別損失	365	1,257	△ 891	-
親会社株主に帰属する 四半期純損益	298	2,816	△ 2,517	10.6

2. セグメント別のポイント

【東京電力ホールディングス（HD）】

- 経常損益は、基幹事業会社からの受取配当金の減少や東京電力EPへの卸電力販売の減少などにより**減益**

【東京電力フュエル&パワー（FP）】

- 経常損益は、火力発電事業等を承継したJERAにおいて、燃料費調整制度の期ずれ影響が悪化したことなどにより**減益**

【東京電力パワーグリッド（PG）】

- 経常損益は、減価償却費などが減少したものの、コロナ影響などによる需要減で、託送収益が減少したことにより**減益**

【東京電力エナジーパートナー（EP）】

- 経常損益は、競争激化やコロナ影響による売上高の減少があったものの、東京電力HDからの購入電力の減少などにより**増益**

【東京電力リニューアブルパワー（RP）】

- 経常損益は、東京電力EPへの卸電力販売の増加などにより**増益**

3. セグメント別の概要

(単位: 億円)

	2020年4-6月	2019年4-6月	比較	
			増減	比率(%)
売上高	13,413	15,040	△ 1,627	89.2
東京電力ホールディングス	1,292	※1,632	△ 339	79.2
東京電力燃料&パワー	19	21	△ 2	89.0
東京電力パワーグリッド	4,107	4,123	△ 15	99.6
東京電力エナジーパートナー	11,994	13,790	△ 1,795	87.0
東京電力リニューアブルパワー	399	※ 288	110	138.4
調整額	△ 4,401	△※4,816	415	—
経常損益	685	985	△ 300	69.5
東京電力ホールディングス	795	※1,482	△ 687	53.6
東京電力燃料&パワー	92	458	△ 365	20.2
東京電力パワーグリッド	407	426	△ 18	95.6
東京電力エナジーパートナー	112	△ 120	232	—
東京電力リニューアブルパワー	178	※ 81	96	218.2
調整額	△ 901	△※1,342	441	—

※ 当期との比較のため、前年4-6月はHD-RP間で値を組み替えている。

4. 連結特別損益

(単位:億円)

	2020年4-6月	2019年4-6月	比較
特 別 利 益	-	※2 3,132	△3,132
特 別 損 失	365	1,257	△891
原 子 力 損 害 賠 償 費	※1 365	300	64
そ の 他	-	※3 956	△956
特 別 損 益	△365	1,875	△2,240

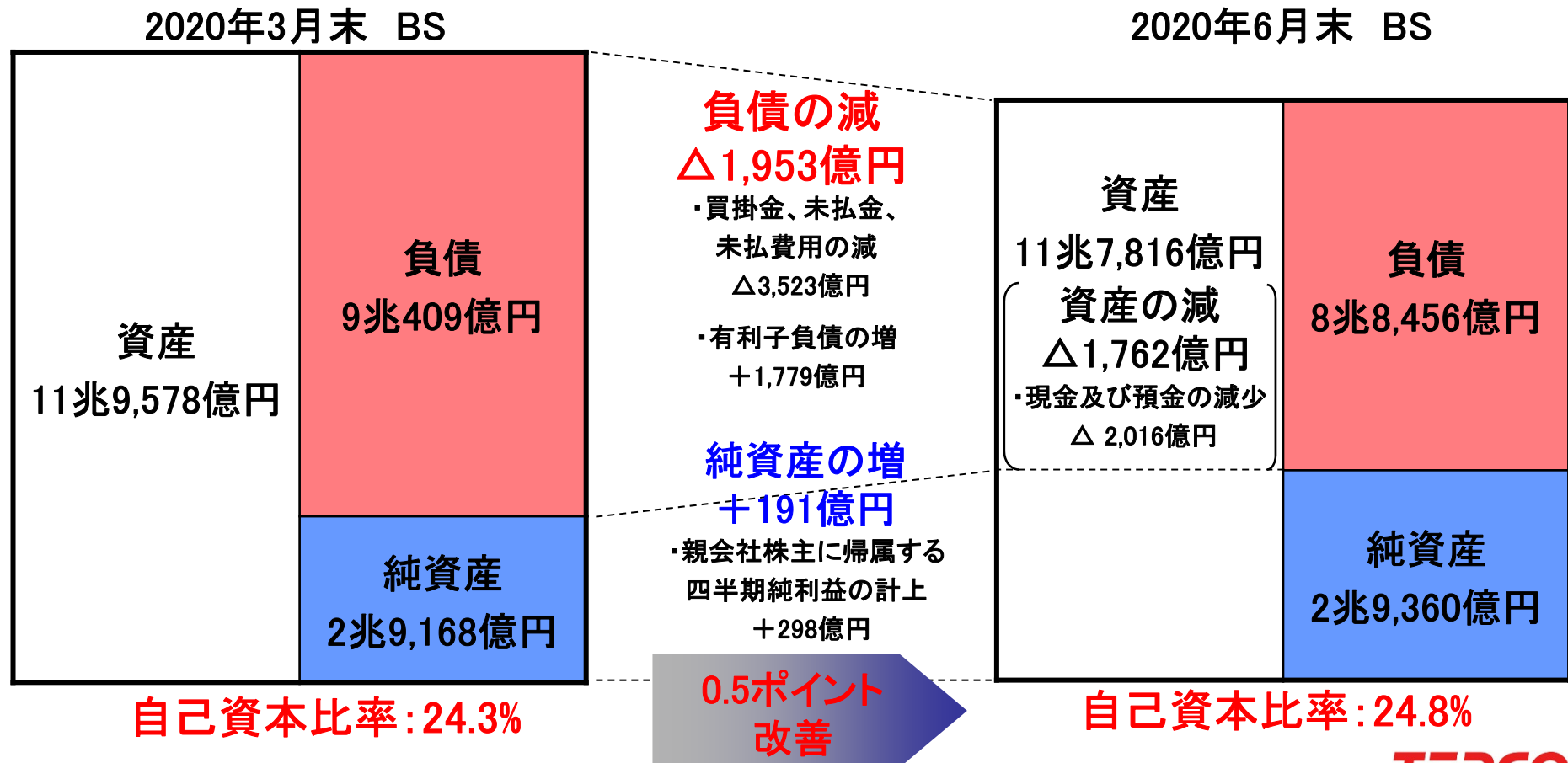
※1 出荷制限指示等による損害や風評被害等の見積り増など

※2 持分変動利益、災害損失引当金戻入額

※3 福島第二廃止損失

5. 連結財政状態

- 総資産残高は、現金及び預金の減少などにより 1,762億円減少
- 負債残高は、買掛金、未払金、未払費用の減少などにより 1,953億円減少
- 純資産残高は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより 191億円増加
- 自己資本比率は、0.5ポイント改善



(参考) 収支諸元表

エリア需要

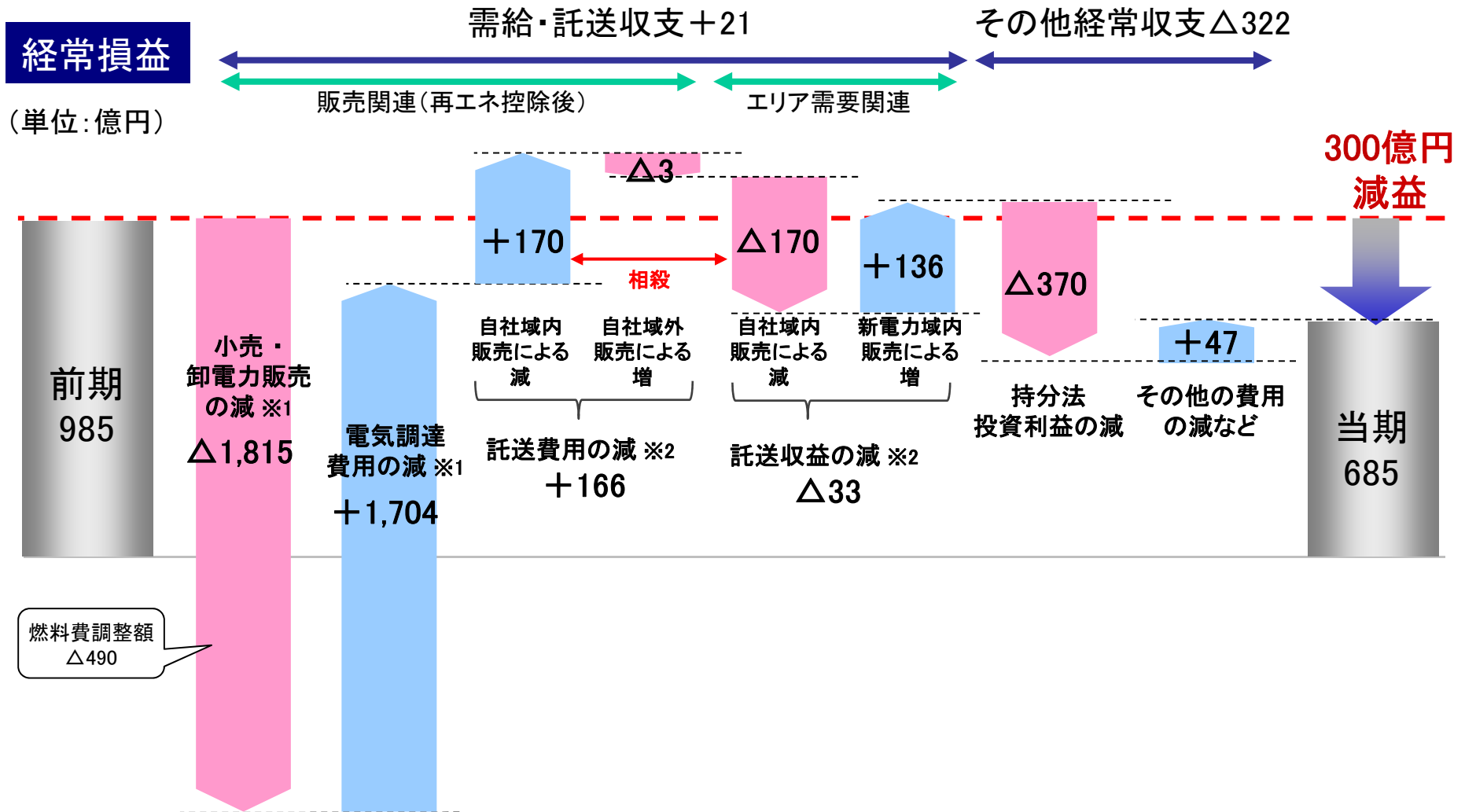
(単位: 億kWh)

	2020年4-6月	2019年4-6月	比較	
			増減	比率(%)
エリア需要	595	623	△27	95.6

為替/CIF

	2020年4-6月	2019年4-6月	増減
為替レート(インターバンク)	107.6 円/ドル	109.9 円/ドル	△2.3 円/ドル
原油価格(全日本CIF)	32.2 ドル/バーレル	71.5 ドル/バーレル	△39.3 ドル/バーレル

(参考) 連結前年同期比較 ① ～増減図～



※1 小売・卸電力販売、電気調達費用は間接オークションによる影響を含んでいる

※2 託送費用、託送収益はインバランス収支の影響を除いている

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

(参考)連結前年同期比較 ② ～数表～

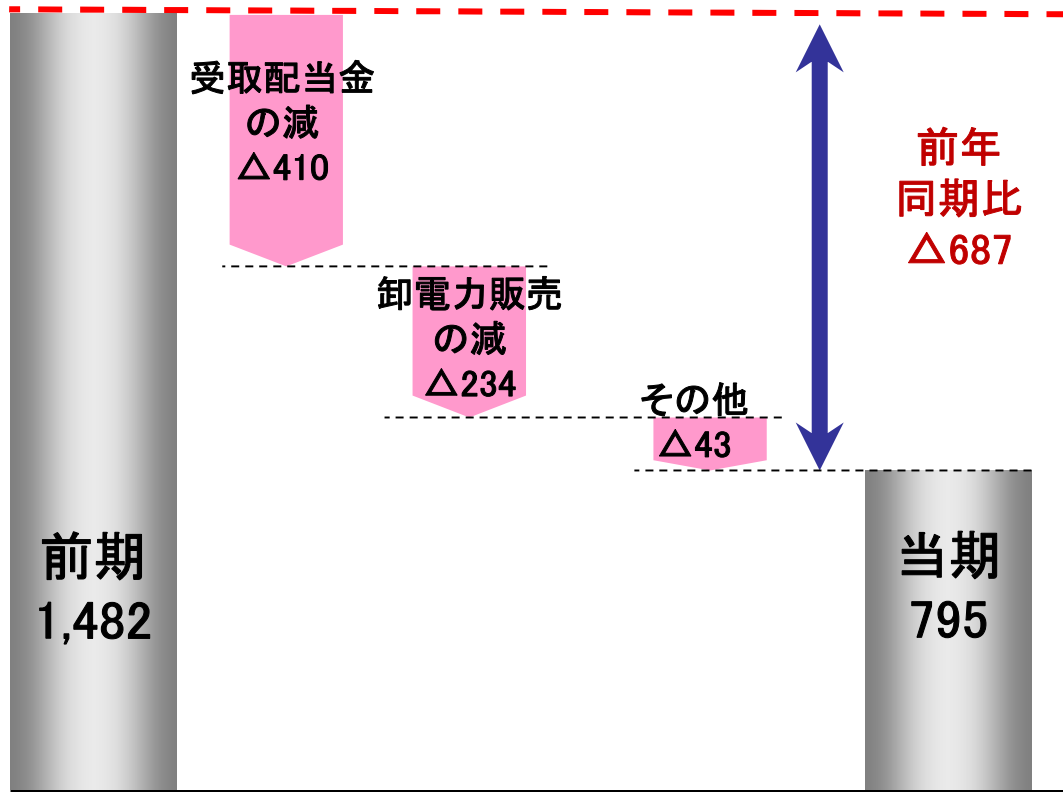
(単位:億円)

	2020年4-6月	2019年4-6月	増減
経常利益	685	985	△300
需給・託送収支	4,446	4,425	+21
小売・卸電力販売	8,860	10,676	△1,815
(△) 電気調達費用	△5,164	△6,868	+1,704
(△) 託送費用	△2,496	△2,663	+166
託送収益	3,246	3,280	△33
その他経常収支	△3,761	△3,439	△322
持分法投資利益	219	589	△370
(△) 減価償却費	△1,005	△1,019	+14
(△) 設備関係費	△562	△554	△8
その他	△2,413	△2,454	+41

(参考) HD前年同期比較

経常損益

(単位:億円)



収支構造

収益は、配当収入や廃炉等負担金収益、経営サポート料や原子力の卸電力販売など。

経常損益

(単位:億円)

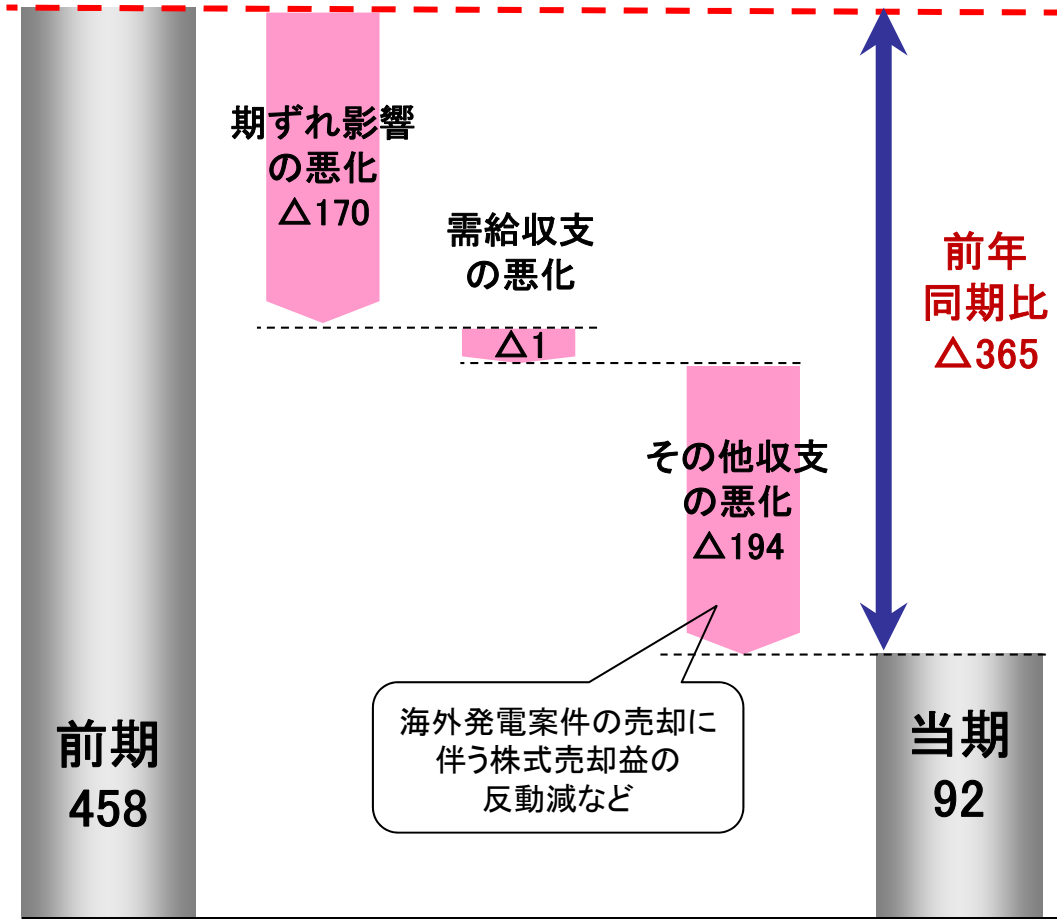
	2019年度	2020年度	増減
4-6月	※ 1,482	795	△687
4-9月	1,623		
4-12月	1,483		
4-3月	1,529		

※ 当期との比較のため、前年4-6月はHD-RP間で値を組み替えている。

(参考) FP前年同期比較

経常損益

(単位:億円)



収支構造

主な利益はJERAの持分法投資損益。

期ずれ影響(JERA持分影響) (単位:億円)

	2019年度	2020年度	増減
4-6月	+220	+50	$\Delta 170$

経常損益

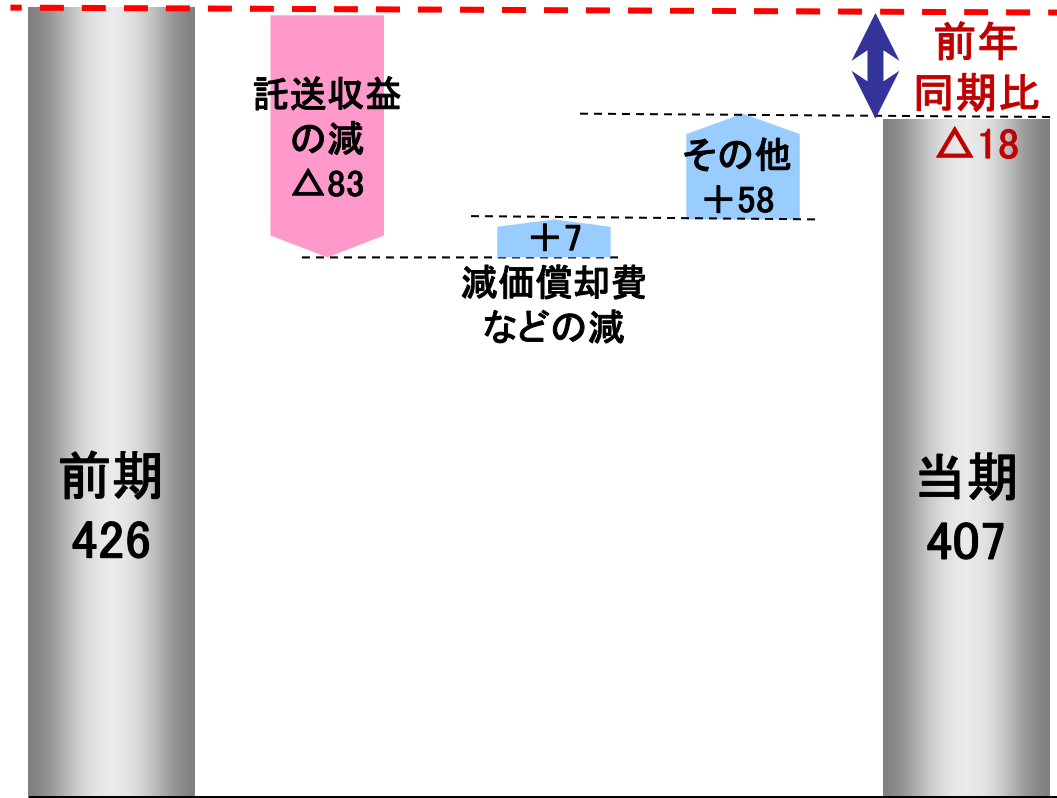
(単位:億円)

	2019年度	2020年度	増減
4-6月	458	92	$\Delta 365$
4-9月	584		
4-12月	623		
4-3月	647		

(参考) PG前年同期比較

経常損益

(単位:億円)



収支構造

売上は主に託送収益で、エリア需要によって変動。
費用は主に送配電設備の修繕費や減価償却費など。

エリア需要

(単位:億kWh)

	2019年度	2020年度	増減
4-6月	623	595	△27

経常損益

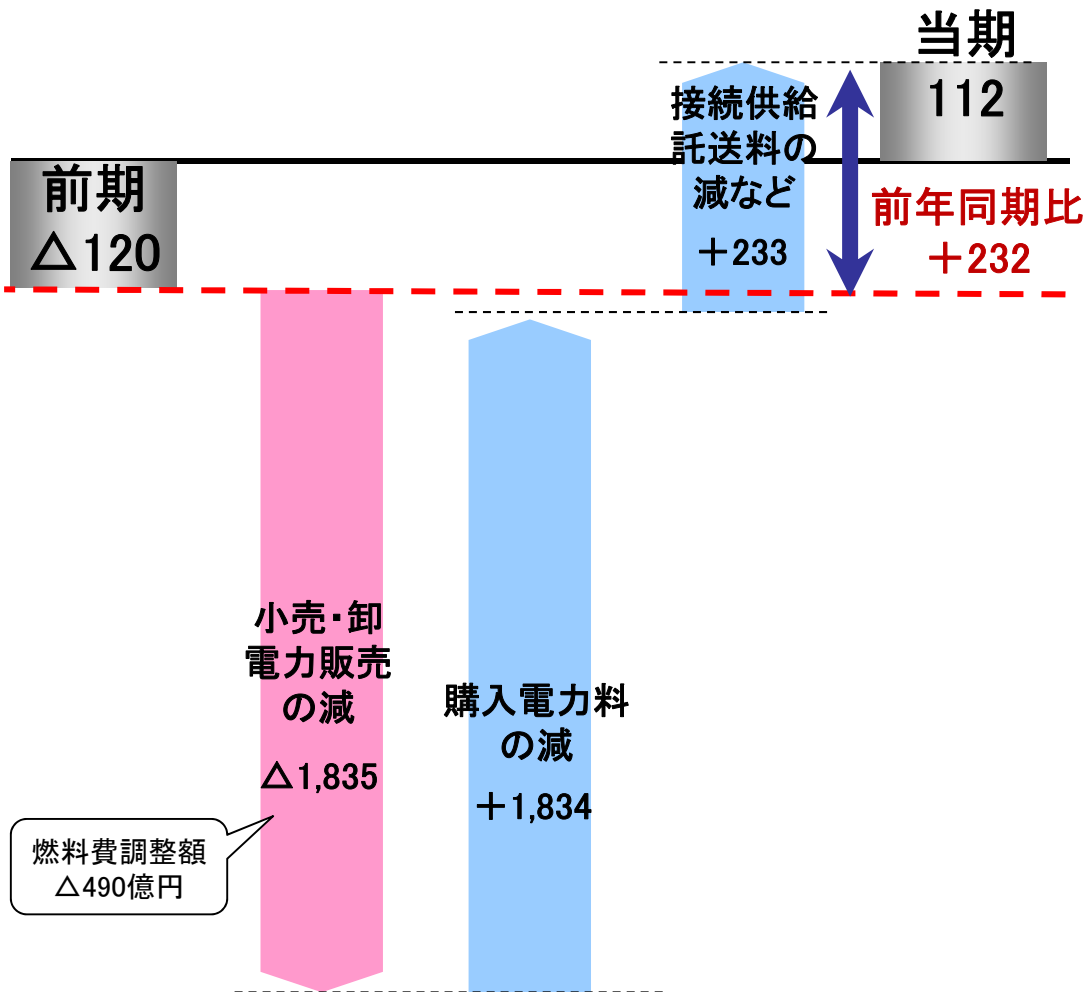
(単位:億円)

	2019年度	2020年度	増減
4-6月	426	407	△18
4-9月	1,199		
4-12月	1,753		
4-3月	1,166		

(参考) EP前年同期比較

経常損益

(単位:億円)



収支構造

売上は主に電気料収入で、販売電力量によって変動。費用は主に購入電力料や接続供給託送料など。

販売電力量

(単位:億kWh)

	2019年度	2020年度	増減
4-6月	522	474	$\Delta 48$

ガス件数 (EP単体)

2020年3月末	2020年6月末
約113万件	約116万件

経常損益

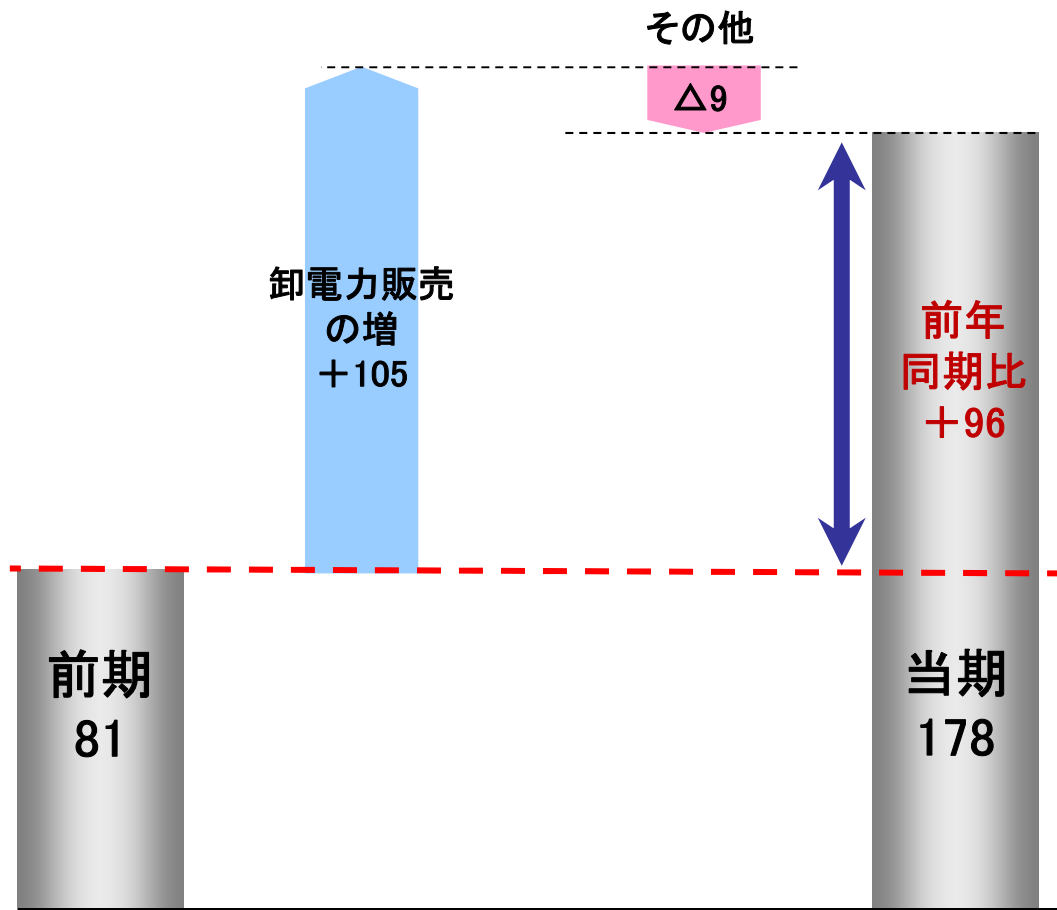
(単位:億円)

	2019年度	2020年度	増減
4-6月	$\Delta 120$	112	$+232$
4-9月	434		
4-12月	546		
4-3月	600		

(参考) RP前年同期比較

経常損益

(単位:億円)



収支構造

収益の大部分は水力・新エネルギーの卸電力販売。
費用は主に減価償却費や修繕費。

出水率

(単位:%)

	2019年度	2020年度	増減
4-6月	90.8	101.9	+11.1

経常損益

(単位:億円)

	2019年度	2020年度	増減
4-6月	※ 81	178	+96
4-9月	-		
4-12月	-		
4-3月	-		

※ 当期との比較のため、前年4-6月はHD-RP間で値を組み替えている。